

Question & Answer

Q 最近の採用実績は？

A 平成30年度採用者数は本省が51人、地方支分部局が80人となっています。本省採用者は本省内の各部局や東京都内の各機関に配属されます。地方支分部局採用者は、採用された地方支分部局に配属されます。過去3年間の一般職(大卒程度)試験合格者の採用者状況は以下のとおりです。

	本省採用者	地方支分部局採用者		女性の割合
		管区行政評価局 行政評価事務所	総合通信局 総合通信事務所	
平成28年度	49(17)	45(19)	34(15)	39.8%
平成29年度	56(23)	46(20)	34(14)	41.9%
平成30年度	51(20)	38(20)	42(17)	43.5%

★人数は各年度の国家公務員一般職(大卒程度)採用者数

★カッコ内は女性の内数

※各年度試験には10月等に採用された人も含まれます。

Q 採用はどのように決定するのですか？

A 採用担当者とあなたとの面談を積み重ねて、あなたの長所・やる気・可能性などを総合的に判断して決定します。面談による人物本位の選考を行いますので、積極的に訪問していただき、あなたの魅力をアピールしてください。

Q 総務省の具体的な業務内容を聞きたいのですが、どうすればいいですか？

A 総務省では、平成29年度を例にとると、総務省独自の業務説明会(7月18日～8月10日)、人事院主催の合同説明会(全国各地での一般職各府省合同業務説明会、霞が関OPENゼミ)等を行いました。また、いくつかの大学においても業務説明会を行いました。

平成30年度も、同様に説明会を開催いたしますので、総務省ホームページ内の採用情報にて開催日程をご確認ください。

Q 採用後のキャリアステップについて教えてください。

A 一般職で採用となる職員は、入省後、内部部局の課・室において、係員・係長・課長補佐等として、主に特定分野の業務(例えば行政管理、地方自治、情報通信行政、統計など)を中心に担当することになります。配属された部署によって異なりますが、多くの人は2～3年に一度、本人の希望・適性に応じて別の部署へ異動することとなります。ただし、必ずしも特定分野の業務のみではなく、キャリア形成の過程で、大臣官房や他分野の業務を担当することもあります。また、係員級のうちから本省と地方支分部局を行き来する機会も多くあります。他にも、都道府県や市町村の幹部職員ポスト等への派遣、他府省等や海外の在外機関への出向、国内外の大学等への留学など多様な経験を積む機会があります。P.2のキャリアステップの一例もご覧ください。

Q 採用後の研修は？

A 採用時に新任者研修を行うほか、業務に関連した研修や希望者を対象とした専門研修・昇任時の研修など様々な研修があります。例えば、平成29年度は英・仏語の語学研修や情報通信政策研究所においてICTに関する各種研修、統計研究研修所において統計に関する各種研修などを行いました。

Q 結婚・出産・介護と仕事の両立に関し、どのような支援がありますか？

A 配偶者が外国で勤務等をする場合、外国において生活を共にするため最長3年まで休業することができる配偶者同行休業制度があります。また、育児との両立では、女性職員の産前・産後休暇の取得はもちろん、男性職員も含め、子供が3歳になるまで育児休業の取得が可能で、復帰後は育児短時間勤務や育児時間の取得等の勤務時間制度も用意されています。他にも、家族に介護の必要が生じた場合、介護休暇や介護時間の取得が可能です。上記以外にも、フレックスタイム制では事前に勤務時間を調整・割り振ることで、柔軟な対応が可能な場合もあります。これらと合わせて、窓口業務などの一部の業務を除き、テレワーク(在宅勤務)も可能です。

総務省では、こうした制度を活用して多くの職員が両立しています。

Q 福利厚生等はどうなっていますか？

A 総務省に採用されると、総務省共済組合に加入することになり、医療給付等を受けられるほか、全国各地にある共済施設が利用できます。また、住宅資金の貸付制度もあります。